

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年11月20日

提出区分	実績	整理番号	12	課題区分	C	
横断的な課題	地域防災力・減災力の強化					
地域重点政策	地域防災力・減災力の強化					
実施機関	木曾保健福祉事務所			担当課	所属	木曾保健福祉事務所(総務課)
事業名	木曾地区災害時医療救護訓練				電話	0264-25-2231
					E-mail	kosoho-somu@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	災害時の迅速・確実な医療の提供				
	現状と課題	・H23年度に災害時医療救護マニュアルを策定し、町村防災訓練と合同して実地訓練を実施 ・R2~4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実地訓練は未実施 ・R元年度訓練反省会において次の課題等が出された。 ①実地訓練は、デモンストレーション的要素が多く、医療救護のスキルアップ訓練ではない。 ②トリアージ※の状況を住民が見る必要があるか疑問 ・関係機関の連携を主とした実践的訓練にシフトする必要がある。 ※傷病者の重症度を判断し、適切な場所へ適切な時間内にふるい分けを行うこと。				
	内容 (変更後の内容)	1 目的 災害時を想定し、災害医療シミュレーションキット(エマルゴトレーニングシステム)を使用した机上訓練を行い、スタッフの技量向上を図るとともに関係機関間の連携を確認・検証する。 2 内容 (1)実施時期 令和5年9月10日(日)8:30~13:00□ (2)場所 木曾合同庁舎 講堂 (3)参集者 木曾医師会、木曾郡歯科医師会、木曾薬剤師会、県立木曾病院、木曾広域消防本部、木曾警察署、木曾郡内6町村、木曾広域連合、木曾地域振興局、木曾保健福祉事務所 (4)訓練内容 エマルゴトレーニングシステムを用いた災害医療訓練				
事業期間	令和5年9月1日		~	令和5年11月17日		
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	講師謝金	訓練ファシリテーター等への謝金	302,400	別シート参照		
	講師旅費	訓練ファシリテーター等の交通費	69,480	別シート参照		
	消耗品費	訓練に使用する消耗品の購入	160,000	別シート参照		
	コピー代	資料印刷費用	30,000	別シート参照		
	合計	561,880				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	訓練参加人数		30人以上	50人	● 達成	
	訓練に関する満足度(参加者アンケート)		70%以上	90%	○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	【実績】 ・木曾地区災害時医療救護訓練実行委員会(6/28(水) 20名参加) ・木曾病院・広域消防本部との事前打合せ(8/23(水) 4名参加) ・木曾地区災害時医療救護訓練(前日準備 9/9(土) 16名参加 訓練当日 9/10(日) 50名参加) 【成果】 ・エマルゴトレーニングシステムを使用した訓練を実施することにより、各機関との連携や情報伝達の方法など災害時の医療救護体制について理解を深めるとともに関係機関との連携を図ることができた。 ・訓練参加者の満足度は、90%(満足57.5%、やや満足32.5%の合計)と充実した訓練内容となった。 (詳細は、別紙実施概要のとおり)					
	今後の方向性	・関係機関に「木曾地域災害時医療救護マニュアル」の見直しについて、意見募集を行い変更作業を進める。 ・マニュアルの見直し結果の検証及び関係機関職員の技量向上のため、来年度も引き続き災害医療シミュレーションキットによる机上訓練を実施する。				